

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス アラジン		
○保護者評価実施期間	2026年1月10日		2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2026年1月10日		2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者アンケートの結果より、子どもたちからの安心感や保護者からの支援への満足度に対し、高い評価をいただけたこと	子どもたちの意見や希望を受け止め、活動プログラムへ取り入れるよう、ミーティングを重ね実現していく	子どもたちが保護者の方へ「楽しかった」と話したくなるような、自分らしく楽しく活動できる支援に努めていきます
2	個々の特性に合わせた活動(個別・集団)を考え取り組んでいる	個別では、支援計画に沿った取り組みや支援目標を念頭に、一人ひとりの成長に合わせた支援を提供できるよう努めている 集団では、外出先ややってみようなど子供たちの意見や希望を受け止め、可能な限り取り入れるようにしている	活動プログラムが常態化しないよう、広い範囲で情報を集め、取り入れられるよう検討を重ねる
3	外出活動を多く取り入れ、集団での取り組み方や公共施設等を利用し、社会でのマナーを学びながら様々な体験や経験ができるようにしている	子どもたちと意見を出し合い、行ってみたい場所・外食・お買い物などを決め、意欲的に参加できるようにしている 公共の場でのマナーやルール、お金の支払い方など、将来子どもたちの自立を見据え、様々な体験や経験を”楽しみながら”身に付けていけるよう取り組んでいる	利用日や曜日が決まっている場合、参加できない子どもがいるので、保護者へのお知らせ時期を早め、調整できるようにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	アンケート結果より、保護者への周知や説明への認知度の違いが大きかった	丁寧な説明や周知のためSNS・配布をして改善に努めてきたが、まだ認知の違いが見受けられた 事業所への掲示以外、個別LINEを通してイベントや家族サポートの情報を配布していったが、忙しい保護者の方への配慮が足りなかったのではないかと	説明時の言葉選びや一つ一つの確認を念入りにし、事業所と保護者での認知度の違いを減らせるよう努める 具体的なエピソードや場面を参考にし、分かりやすい説明をする 配布の際にコメントも一緒に送信する等、何の配布やお知らせなのか分かりやすく工夫する
2	アンケート結果より、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもとの活動の機会が少ない	昨年度のアンケート結果を踏まえ、今年度は子ども食堂の利用や地域で開催されるイベントへの参加をしたが、それぞれグループ(各参加団体)での活動になってしまい、交流と一緒に活動とは言いにくい 他事業所と一緒に体操教室への参加は継続して取り組んでいるが、周知が足りていない	地域開催のイベントは、参加グループでの活動になってしまいが、自由になってしまうと引率スタッフの人員増加、相手保護者への説明と理解が必要になるため、一つずつ課題をクリアしていく必要がある 活動の様子を保護者に見ていただける参観型に出来ないか検討中
3	アンケート結果より、事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図れていない	地域行事やお祭り、学校行事見学などは積極的に参加しているが、敷地内に関係者以外が立ち入ると、混乱したり不安が強くなる子どももいるため、開催に至っていない	引き続き、積極的に参加していき、関係者以外の大人に慣れさせていくようにする